

連合宮城

「2026 ジェンダー平等推進フォーラム」を開催!



鈴木委員長
(主催者挨拶)

連合宮城は、6月18日(木) 仙台市内において、「2026 ジェンダー平等推進フォーラム」を開催し、総勢89名が参加した。なお、各構成組織に対し女性の参加を呼び掛けたところ、女性の参加率が31.5%となり、目標としている、集会等の女性参加率30%を上回る結果となった。また、講師には(公財) せんだい男女共同参画財団の牛井渕^{ごいぶち}展子氏を迎え、「職場におけるアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)」をテーマに学習を深めた。

はじめに主催者を代表し、連合宮城ジェンダー平等推進委員会鈴木伸委員長 [J P労組] は、「アンコンシャス・バイアスについて学び、誰もが尊重され能力を発揮できる職場づくりの重要性を共有し、今後の職場や組合活動に生かしていただきたい」と述べた。

牛井渕氏は、管理職や育児、海外赴任などを題材にした事例を用い、参加者が無意識のうちに性別や年齢による固定観念を抱いていることを指摘した。また、「女性は家庭を優先するべき」「若い人は残業できる」「今どきの若者は常識がない」といった思い込みもアンコンシャス・バイアスの一例であり、こうした偏見が本人の可能性を狭めるだけでなく、組織全体の活力低下につながることを紹介された。さらに、バイアスにはさまざまな種類があるとして、「ステレオタイプ・バイアス」「正常性バイアス」「権威バイアス」「集団同調性バイアス」などが説明された。特に、経験豊富な上司や組織の慣習を過度に信頼することで新たな発想や改善提案が受け入れられなくなる危険性や、災害時などに「まだ大丈夫」と過小評価してしまう正常性バイアスの危険性について、具体的な事例を交えながら解説された。また、アメリカのオーケストラで導入された「ブラインド・オーディション」の事例も紹介された。応募者の性別や人種が分からない状態で審査を行った結果、女性の採用率が大幅に向上したことから、人は自覚以上に属性によって評価していることが示された。こうした事例は、職場における採用や人材配置、昇進・昇格の場面でも参考になるとされた。牛井渕氏は、アンコンシャス・バイアスそのものを完全になくすことは難しいものの、自らがバイアスを持っていることを認識し、相手を属性ではなく一人の個人として理解しようとする姿勢が重要であると強調した。多様な人材が能力を発揮できる職場づくりのためには、自由に意見を言い合える「心理的安全性」の高い組織風土が不可欠であり、新入社員や経験の浅い社員の声にも耳を傾けることがイノベーションや組織の成長につながると述べた。最後に、人口減少や人材不足が進む中で、多様な人材が活躍できる環境づくりは企業や組織の持続可能性を高める重要な経営課題であると指摘した。アンコンシャス・バイアスを適切にコントロールし、ダイバーシティを推進することが、誰もが働きやすく活躍できる職場づくりと組織の発展につながるとして、参加者に職場での実践を呼びかけた。

フォーラム終了後に実施したアンケートからは、今回のフォーラムは、参加者の満足度が非常に高く、アンコンシャス・バイアスに対する理解促進と意識改革につながる大きな成果であったと受け止める。特に、自らの思い込みへの気づきや、多様な意見を尊重する姿勢の重要性について、多くの参加者が認識を深めたことが伺えた。

(厚生労働省)

誰もが働きやすい職場づくりのために「アンコンシャス・バイアスセミナー動画」

<https://www.youtube.com/watch?v=WsuPpbkLRsY> (約12分の動画です。厚生労働省公式Youtubeチャンネルより、どなたでも無料でご視聴いただけます。)



◀エルソラ仙台牛井渕氏

メーデー宮城県大会を紹介します!

連合宮城は、4月29日(水・祝)及び5月1日(金)において、県内7会場で開催した。当日宮城県大会の会場には2,000名が集まり、宮城県全体では連合に集う組合員4,070名が集結した。

宮城県大会は、仙台市青葉区の錦町公園を会場として開催し、前回同様に式典前の市内パレード・デモ行進、併せて式典や和太鼓アトラクション、東日本大震災から15年の復興に焦点を当てたプログラムを企画し、家族を含めた幅広い参加をめざした。

式典前には、「NTT東日本東北ウインドアンサンブル」によるブラスバンド演奏や、MC(女性委員会・青年委員会)による会場アナウンスを実施した。

式典終了後は、アトラクションとして創作和太鼓「駒の会」による躍動感あふれる和太鼓演奏を披露していただき、身体の奥まで響く力強い音色が印象的であり、太鼓のリズムがそろった瞬間には迫力と一体感が生まれ、日本の伝統文化の魅力改めて感じる内容となった。また構成組織からは、バスの展示、各種PR活動、署名活動、水素自動車の活用、労金の移動ATM車、お子様向け企画、物販、喫煙ブース、救護班などについて協力をいただいた。

平和ブースでは、連合平和4行動の紹介や折鶴作成に取り組んだほか、東日本大震災から15年が経過する中、震災を風化させない取り組みとして、「当時の記憶や思いをつなぐ」「風化防止」「防災・減災」「復興」「感謝」「祈り」などをテーマに、多くの参加者から短冊へメッセージを寄せていただいた。

その他、ラッキーカード抽選会では、8構成組織および労働福祉団体から20点の景品の提供をいただいた。

次ページでは、県内各地域・地方大会を紹介します。



デモ行進の様子



デモ行進の様子



マスコットキャラもお出迎え



式典の様子



ブースの様子



ブースの様子



ブースの様子



ブースの様子



連帯ガンバ回唱



創作和太鼓「駒の会」



ラッキーカード抽選会

メーデー宮城県大会「各地域・地方大会」はこちら!

各地域・地方における開催内容ならびに参加者数は下記のとおりです。

主催地協(開催名称)	開催日時	開催場所	内 容	参加実績
仙台地域協議会 (宮城県大会)	4/29(水) 9:30～	錦町公園 (仙台市青葉区)	式典、デモ行進、太鼓演奏、 出店、署名等	2000人
仙南地域協議会 (仙南地方大会)	4/29(水) 10:00～	白石川公園 (柴田郡大河原町)	式典、プラカード発表、BBQ、 愛のカンパ、抽選会等	500人
塩釜地域協議会 (塩釜地方大会)	4/29(水) 10:00～	塩釜市港町公園 (塩釜市)	式典、アトラクション、抽選会、 署名、愛のカンパ等	280人
石巻地域協議会 (石巻地方大会)	4/29(水) 10:00～	石巻中瀬公園 (石巻市)	式典、抽選会、デモ行進、 愛のカンパ	710人
大崎地域協議会 (大崎地方大会)	4/29(水) 10:00～	大崎市古川あさひ中央公園 (大崎市)	式典、抽選会、仮装プラカード コンクール、デモ行進、署名等	230人
仙北地域協議会 (仙北地域大会)	5/1(金) 10:00～	登米市迫公民館 (登米市迫町)	式典、抽選会、愛のカンパ等	200人
気仙沼地域協議会 (気仙沼地域大会)	4/29(水) 11:00～	サンマリン気仙沼ホテル観洋 (気仙沼市)	式典、お楽しみ抽選会、シンガー ソングライターによるミニライブ	150人
参加人数(7か所)				4,070人

● 仙南地方大会 ●



● 塩釜地方大会 ●



● 石巻地方大会 ●



● 大崎地方大会 ●



● 仙北地域大会 ●



● 気仙沼地域大会 ●



女性のための全国一斉集中「労働相談ホットライン」

連合宮城は、2026年6月の連合「男女平等月間」と連動した取り組みとして、「全国一斉集中労働相談ホットライン～仕事で悩むあなたを応援(サポート)します～」を6月9日～10日にかけて実施した。また、「労働相談ホットライン」の周知のため、県内各地協や仙台市青葉区一番町で街宣やチラシ入りポケットティッシュを配布した。

1. 目的 働く上で女性が抱える悩みや不安、職場の問題に関する労働相談への対応を行うとともに、相談を通じて組合結成や処遇改善の取り組みに努める。さらに、寄せられた相談をもとに男女平等参画社会の実現に向けて政策・制度への反映をはかる。
2. 実施時期 2026年6月9日(火)～10日(水) 9:00～18:00 ※連合本部と連動した日程で行った
3. 実施場所 連合宮城労働相談室
4. 対応 女性委員会を中心に、今野オルガナイザー、専従役員と連携
5. 周知 県政記者会への取材要請、チラシを作成し地域協議会と連携した周知
6. 街宣行動 周知を行うため以下の日程で街宣行動を実施予定であったが、天候不順により中止とし、9日・10日に街頭でチラシ入りティッシュ1300個を配布した。
 - 実施日 2026年6月8日(月) 11:45～12:30
 - 場 所 一番町平和ビル前
 - 内 容 街頭からの訴えとチラシ入りポケットティッシュの配布
7. 特記事項 相談内容としては、「差別関係(パワハラ・嫌がらせ)」が最も多く、職場内のハラスメントに関する相談が多い傾向にある。次いで、「雇用契約・賃金関係・労働契約関係」であった。



街頭でのティッシュ配布の様子



労働相談の様子